

すずかぜ新聞



平成30年9月

発行 税理士法人すずかぜ
〒937-0068 富山県魚津市新本町27-17
TEL 0765-24-2210
FAX 0765-24-2995
HP <http://suzukaze-group.jp>

「捨てる仕事発見!？」

企業経営においては、様々な仕事があります。現場仕事、人事、購買、設計、営業、経理など細かくあげれば切りがありません。

しかも、仕事というものは、いつの間にか膨らんでいきます。それは、顧客からの要求であったり、従業員からの提案であったりなど、良いと思ったことは積極的に取り入れた結果なのかもしれません。

その一方で企業環境が刻々と変化しています。ルールの改正や技術の進歩、少子高齢化など変化は今の事業内容を見直す機会になります。しかし、頭でわかっている、現実には時間も人材も不足気味です。

こうした環境の中で具体的に課題とすべきはどんなことでしょうか？

それは、時間をいかにして空けるかではないでしょうか。

水が満タンになったコップには、もう水は入りません。新しい水を入れるには入っている水を捨てるしかありません。

目一杯の仕事の中から捨てる仕事を発見し、捨てるための工夫をしてはどうでしょうか。必ずやめても良い仕事があります。

でも、実際にはその仕事が無駄か必要かを検討する段階でやっぱり必要だということになり、結局は続けることになってしまいます。今まで続けてきた仕事をやめることには抵抗感も手伝います。

では、どうすれば捨てるでも良い仕事を見つけることができるのでしょうか。

それは「その仕事をやめたらどんな影響が出るか」との視点で検討することです。影響が全くないというのであれば直ぐにやめるべきであるし、また影響があってもそれほど重大なものではないというときは「やらない」という方向づけをすることになります。そして、やめた場合の影響を最小限にする工夫をします。

また、捨てる仕事についての検討は定期的なミーティングで行うなどの仕組みを作ることが必要です。

その事業が、いつまでも今のまま存続できるのでしょうか。どんなに新しくすばらしい技術や製品、サービスであってもそれ以上に新しくすばらしいものが出現し、旧式化していきます。新しいものは、生まれたその瞬間から旧式化が始まっていることを認識しなければなりません。

これは、自然の法則であって、避けることも変えることもできません。

そうであるならば、現在の技術や製品サービスについて、自らが更に改良を加えて旧式化させるという意識が、必要になってきたのではないのでしょうか。

石原知二

～スタッフの言葉～

皆さん、お盆はいかがお過ごしでしたでしょうか？私は親戚や、友人の集まりなどで飲んでばかりでした(笑)

昼間は毎年恒例となっている高校野球の観戦！
今年は100回記念大会ということもあり、過去最多の56チームが参加しています。

富山県代表である高岡商業高校は、先日優勝候補の大阪桐蔭高校に惜しくも敗れはしましたが、見事ベスト16でした。素人目で見ても、投手力は互角と言っても良いくらいに競っていました。最近の高校球児は、プレー中の笑顔が増えたように見受けられます。ネットで調べると、賛否両論のようですが、あれだけのプレッシャーのかかる大舞台上、「笑顔で楽しむ」ことができるのは、それまでに厳しい練習を積み重ね、自分に自信を持っているからこそだと思います。

仕事でも通じる場所があります。社会人生活を楽しめるかは、まず目の前の仕事に一生懸命取り組み、自信を持てるように日々チャレンジしていくことが大事だと感じました。

上田



米騒動100年記念製作菓

富山県産こしひかり
100%

米さわぎ



シンプルに良い素材と
美味しい富山のお米で作った
お米サブレです。



小麦粉未使用の
軽い食感が特徴です。
「米騒動発祥の地」魚津のお
菓子としてご利用ください。
御1つ 100円(消費税抜き)

有限会社 大崎丸善

営業時間 9:00~19:00 定休日 月曜日 (祝日の際は営業)

吉島店 0765-22-8858 銀座通店 0765-24-4567

ホールをリニューアルしました



お客様のご要望にお応えして、
落ち着いて面談できるよう個室に致しました。